

ころは、気合でやり続けた感もあります。 ですが、その日を前向きに終わらせることで、一日一日を充実させることができ、「自画絶賛」により自信を重ねたように思います。 今ではこの日誌に価値を感じた、チームメンバー4人とも、恥ずかしながら、「交換日誌」もはじめました。 チームメンバー一人ひとりのささいな変化を感じながら、「主体変容」をも感じはじめています。

「心を広くする」では、私の「ありたい姿」に共感してくれて、日々その実現に向けたルーティン行動・期日行動を実践してくれているメンバー一人ひとりへ、感謝の気持ちを持ち、肉体的・心理的ストロークを意識的に仕掛けています。 朝礼前の日頃からのコミュニケーションにおいて、手を肩に添えながら「おはよう。今日も全力投球しよう」、「頑張っているね。いつも助かるよ」、会議前にテーブルを清掃する姿に「気持ちいね。いつもありがとう」などなど、1日で100回ストロークを目標に意識的に仕掛け続けました。 メンバー一人ひとりとの対話の時間がこれまでの2倍化されましたし、相談や連絡することが当たり前の光景になりつつあります。そして、家族への感謝では、これまで当たり前になっていた夕食のひと時も、妻へ「ありがとう、おいしかったよ」の声掛けそして、感謝の気持ちを行動で示し続けました。 夕食後は家族みんなの食器を片付け、皿洗いをすることを毎日、例外なく続けました。 はじめたころは、不審感漂う雰囲気の中、居心地も悪かったのですが、今では皿洗いをする私の傍ら、安らかな時が流れる家族の雰囲気を感じています。

まだまだ、語りつくせないほどの気づきと実践がありますが、2か月前の自分とは、比べものにならないほど「人間力」が向上、「自立型人間」へと向かっていると「自画絶賛」しています。

最後になりますが、「原田メソッド認定パートナー養成塾」の2か月間が、これまでの会社生活において、最高のイベントであったことを改めてお伝えするとともに、原田隆史先生、北宏志先生をはじめ、ご支援いただいた認定パートナー、原田研究所の皆様感謝とお礼を述べたいと思います。 「原田メソッド」に向き会えた最高の時間をありがとうございました。これからは「原田メソッド認定パートナー」として、5段階の「心づくり」指導を通じて、自立型人間を育成しながら、仕事の理念である「人こそブランド」を実現します。これからも、どうぞ「マツダ」にご期待ください。

この2か月間、本当にお世話になり、ありがとうございました。

